



# 滋賀県レイカディア大学 同窓会 湖東支部会報

平成31年1月1日

生き生き人生を共に歩みましょう

迎



春

## 新年の挨拶



湖東支部長  
児玉正孝

新年あけましておめでとうございます。昨年は公私にわたって大変お世話になり厚く御礼申し上げます。いよいよ平成も三十一年四月三十日をもって幕を閉じ、五月一日から新たな元号が始まります。

言葉に「十年一昔」があります。十年という期間が過ぎれば、身の回りも変化して、昔のこのように感じるという意味ですが、皆さんは如何でしょうか。実際、十年前の自分を振り返って見ますと、そんなに昔ではなく、今の自分とそう大きな差（少なくとも肉面的には）は無いように思えます。しかし、今から十年後となればそうは行きません。男子の平均寿命をはるかに超えています。これからは「健康が第一番」の日々反省になるのではと思っております。

さて、湖東支部では一昨年からは、支部役員皆さんに、四部会（総務・研修・広報・地域）に分かれていただき、担当行事について計画・案内・準備・遂行に至る全てを実施いただいています。七月の作品展、八月の彦根総おどり、九月

の新会員歓迎会、十月の二回のGG大会、十一月の研修旅行と地域活動事例発表会です。八月には、初めての「びわ湖岸美化活動」も実現できました。会員の皆さまには関心いただける行事を選択いただき、その都度参加いただければと思っています。湖東支部会報も八月と一月に発行できました。

同窓会本部の最大の課題は支部同様、組織の維持継続です。ここ二三年の新入生の大幅定員割れは、将来の同窓会の地盤低下にも繋がります。学校事務局やサポート隊と連携したレイカディア大学の地名度アップ、新入生募集活動の支援が不可欠となっています。

特に新入生の入学のきっかけが、「地域の先輩の入学勧誘」と「大型店舗での学生募集チラシを見て」が多いだけに、今年も三月下旬からのチラシ配布が注力されます。会員皆さまには「一人一回の声掛け運動参加」のご協力をお願いしたいと思っています。

今年は任期二年の最後の年になります。組織の活性化は、行事の参加者を如何に増やすかです。世代交代が早くなるなか、直近卒業生皆さんへの「活躍の場づくり」も必要です。世代や地域を超えての仲間づくりが、活動の目的の一つになればこの上ない喜びです。

終わりに、会員皆さま、ご家族皆様様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

## 同窓会活動の広場

### 新会員歓迎会

九月二十五日、甲良町西明寺門前の「休庵」にて新会員歓迎会を開催しました。十二名の新会員の熱き自己紹介に始まり、余興の場は同窓会員による日本舞踊とレクレーションダンスで大いに盛り上がり、最後には全員で彦根ばやしと江州音頭を踊り、余韻残る中、懇親会は楽しくお開きとなりました。



上：新会員一同



左：会場風景

### 彦根ばやし総踊り大会

八月十日、彦根ばやし総踊り大会が彦根銀座街の中心部で行なわれ、レイカディア大学同窓会湖東支部から25名が参加しました。



上：総踊り参加者一同

### びわ湖清掃活動

七月三十一日、彦根松原水泳場付近で地域貢献をテーマにびわ湖岸の環境美化活動を行いました。



### 湖東支部親睦GG大会

十月三日、湖東支部グラウンドゴルフ大会が荒神山公園GG会場で開催され、二十三名が参加者しました。体を動かすには秋晴れの絶好の日で、普段の運動不足を少しは解消できたかも知れません。



優勝 木村傳平様

### 四支部親睦GG大会

十月十五日、本年度は湖東支部が幹事となり荒神山公園GG会場で、湖北中部近江八幡の四支部の親睦GG大会が開催されました。



### 大飯発電所へ研修旅行

十一月十四日、41名の参加者は福井県の大飯原発を訪れ、原子力発電の設備や安全性への備え、対策について研修を受け、午後には小浜湾めぐりをしました。時折小雨に出会いましたが晩秋の一日を楽しく旅行できました。



発電所前のビクターズハウスにて



小浜湾めぐりの乗車船前



## 訪問コーナー

## 陶芸と絵画が元気の源

久保川幸雄様 陶芸学科32期)

現在、七十六歳で奥様とともにお元気に活動されている久保川幸雄さんをお尋ねしました。

久保川さんは大阪で会社経営に携われた後、六十六歳で帰郷され、興味のあった陶芸を学ぶためすぐにレイカディア大学陶芸学科に入学されました。

愛荘町には陶芸学科を卒業された先輩が七人おられ、平成十三年に「愛荘町陶芸クラブ」を結成され、現在十二人の会員とともに、「福祉センター愛の郷」で毎月第二、第四の火・水曜日に食器・壺・花器などの創作活動に和気あいあいと取り組んでおられます。

久保川さんは当クラブの会長をされて、創作のテーマに「あかり」を設定して、作品から漏れこぼれる「灯り」をいかに表現するか悪戦苦闘中とっておられました。町の文化祭や文化協会の発表会、銀行のロビーなどにも作品を展示されています。多くの作品を拝見しましたが紙面の都合もあって大作を紹介できないのが大変残念です。

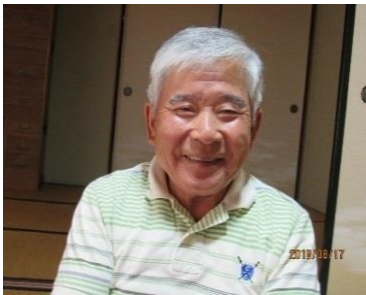
住民の福祉に貢献ささらに久保川さんは、地域の民生委員の任もされ、れるなか、絵画アートにも取り組まれ、号の油絵、「秋の風景」が昨年の町文化協会主催の絵画展に入選されました。

ほかに愛荘町が取り組んでいる桜の町づくり事業を推進しているボランティア団体「愛荘さくらを守る会」の一員として活動をされています。

「私は陶芸を学んできたが園芸のことはよくわかりません」と言われつつも意欲的に地域活動をされておられます。

趣味とボランティアに情熱を注がれている久保川さんのような生き方が元気の源だと感銘いたしました。

(訪問者 村西俊雄 園芸学37期)



久保川幸雄様と最近の陶芸・絵画作品

## 同窓会員の活動広場

## 「みなよし会」

石山昌憲 (北近江文化学科37期)

「みなよし会」は北近江文化学科37期生が中心となり構成しています。現在15名で、内、湖東支部の会員は4名です。

目指すものは、「地域の方々との交流」と「仲間の親睦」です。昨年3月には東近江市の「乙女浜憩いの家」を、5月には多賀町の「ささ

ゆり保育園」を訪問して紙芝居、手品、楽器演奏、合唱などを一緒に遊びました。いずれの訪問においても大いに楽しんでいただき、また来てねと嬉しい声をたくさん頂戴できました。レイカディア大学で学んだ御陰と一同感謝しています。

11月には健康づくり学科、38期北近江文化学科の皆さんと合同で庭園で有名な「近江狐逢庵」、紅葉の名所浅井家ゆかりの「鶏足寺」や「井口弾正邸址」を訪れ、浅井家、京極家の女性たちの生き方に思いを馳せ偲び、午後には木之本の旧宿場町を散策し湖北の秋を満喫しました。

みなよし会では。卒業後も生き生き人生が歩めるよう、仲間との交流を大切に、その親睦に取り組み、軽ハイキング、里山歩き、城郭探訪、食事会なども行なっています。これからも、この目標に向かって努力していきたいと思えます。



東近江市乙女浜憩いの家 紙芝居



多賀町ささゆり保育園 楽器演奏と合唱



紅葉の名所 浅井家ゆかりの鶏足寺

## 湖東支部「作品展」の出展者と作品

昨年7月に開催された作品展には31人から50点の作品が出品されました。

氏名	卒期学科	部門	作品	氏名	卒期学科	部門	作品
澤邊雅子	35 北近江	絵画	愛猫、庭先で	西澤則彦	37 健康	文芸	歎異抄第3章
戸嶋滋一	36 園芸	工芸	竹灯笼3点	品居初江	26 園芸	陶芸	花器
奥村鮎子	29 生活	文芸	俳画 2点	澤好成	35 園芸	写真	思い出2点
宮川文男	32 園芸	工芸	進化した風車他 1点	川並稔男	15 文芸	文芸	俳句
宇野幸彦	31 陶芸	工芸	丸瓢箪加工 2点	桂田成康	29 園芸	園芸	盆栽2点
金子美智子	34 陶芸	書	漢詩 2点	木村岩男	27 スポレク	工芸	びんてまり
村西俊雄	37 園芸	絵画	阿修羅、叫び	上野芳樹	37 園芸	工芸	竹灯笼
杉江久子	32 生活	手芸	押し花作品 3点	久保川幸雄	32 園芸	陶芸	焼き締め壺、絵皿
木下二二男	35 北近江	絵画	裸婦デッサン他 1点	須田誠一	25 園芸	工芸	竹灯笼
外村輝夫	28 生活	点描画	バサラ大将他 1点	竹内和美	37 北近江	手芸	日本人形
石島 孝	31 園芸	盆栽	ハゼの木、オモト	百田勝彦	32 地文	水彩画	紫陽花
中田茂男	29 園芸	盆栽	岩盆栽、エビネ	小沢三男	29 文芸	俳句	季節の句
馬場勝子	31 スポレク	手芸	ワンピース	山口義雄	37 園芸	絵画	思い出の地
北河つた宇	28 生活	工芸	夜空	木村傳平	21 スポレク	水彩画	収穫
豊原京子	25 スポレク	手芸	セーター、ベスト	福島将夫	34 園芸	工芸	竹灯笼、竹細工
森野久章	17 園芸	盆栽	錦松				(順不同)

## お便り

幸せは、  
それは自分づくりのもの

卒業してから14年が経ちました。自身ではそんなに経ったのかという感覚の思いであります。歳を取るほど月日の経つのが早いものです。

園芸学科で習得したことを生かしながら地元シルバー人材センターで、葉刈り剪定作業など樹木の手入れを12年間程行いました。現在は会員の皆さんのお世話をしています。

また体力づくりのためにグラウンドゴルフ、ゲートボールに参加しながら、昨年の作品展でのつながりで竹灯笼づくりにも先輩の皆さんに教えていただきながら取り組んでいます。

この様に人と人とのつながりの中で、自分が努力すればまわりも支えてくれます。

仲間づくりの中で自分自身が磨かれて相手の気持ちを理解し、軽くストレスを受け止めながら、元気で楽しく愉快に健康づくりに取り組むこれからの人生を過ごして行きたいです。

須田誠一 園芸学科25期

## 新会員(39期生)ご紹介

上野清治・宇野賢一・川崎 勝・北川勝美・廣田 茂・桂田芳明・大町千津子(園芸学科)橋田 茂・藤森 勉・宮口振英(北近江学科)山梶 修・小山美代子・伊藤陽子(健康づくり学科) (順不同)

表紙写真 神楽 合獅子

湖東三山館にて 須田誠一様撮影

## 編集後記

歓迎会には新会員12名の方から熱い思いを語っていただきました。出席者諸氏は同窓会の将来に期待と明るさを感じたと、思います。新元号の時代が真近になってきました。昭和、平成の時代を生き抜いてきた私達、新元号の時代になっても末永く生き生き人生を歩んで行きたいものです。

滋賀県レイカディア大学同窓会  
湖東支部会報

平成三十一年一月一日発行

平成三十年度第二号

発行責任者 児玉正孝

編集責任者 西澤則彦